

令和5年度

消防本部の方針書

部名	消防本部
部長名	鈴木 勉

1. 部の使命(ありたい姿)

誇りと意欲を持って職務に当たり、市民の信頼と期待に応える。

担当政策	政策3:豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
担当施策	3-3:災害に強いまちづくりの推進

2. 部の抱える課題(現状)

- 1、安全確実な業務遂行
- 2、災害対応力の向上
- 3、専門的な知識、技術を有する人材の育成

3. 今年度の『スローガン』

「安全 確実 迅速」 ～ 誇りを持って～

4. 今年度の方針

- 1、安全確実な業務遂行
- 2、人材の育成
- 3、災害に強いまちづくり

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	安全確実な業務遂行
	取組内容	1、公務災害、交通事故等の根絶 2、指揮隊の常時運用体制の構築 3、心身の健康障害の予防推進
(2)	実現したい成果	人材の育成
	取組内容	1、消防職員としての服務規律の遵守 2、職員個々の知識と技術の向上 3、専門的知識、技術を有する人材の養成
(3)	実現したい成果	災害に強いまちづくり
	取組内容	1、消防団の消防力向上と連携強化 2、高機能消防指令センター更新事業の推進と消防施設、個人装備の充実 3、火災予防の推進(住宅用火災警報器の普及啓発と消防法令違反の是正)

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1)安全確実な業務遂行
 - ・安全衛生委員会を定期的に開催するとともに、各所属では危険予知トレーニングやヒヤリハット事例の共有など安全教育を行い、危険予知能力向上を図った。上期は公務災害、交通事故とも無事故を達成。
 - ・惨事ストレス対策では、対策要綱に則り、惨事ストレス予防ミーティングを実施。また職員全員の健康診断を実施。
- (2)人材の育成
 - ・所属長等とのミーティングを通じ、公務員としての倫理観やコンプライアンスについての自覚を促すとともに、誇りと使命感をもって職務にあたることができるよう育成。
 - ・消防大学校、救急救命東京研修所、県消防学校初任科など上期計画していた研修がすべて修了したほか、小型移動式クレーン免許や玉掛け免許、小型船舶免許の資格取得の助成を実施。また、特殊車両(はしご車、救助工作車)の機関員を養成。
- (3)災害に強いまちづくり
 - ・消防団に対し、消防操法、水防工法、救命ボート講習など各種訓練を実施。
 - ・高機能消防指令センター更新に向け、実施設計の業務委託を契約締結。
 - ・住宅用火災警報器設置推進のため、未設置世帯へ訪問し広報活動を実施。また消防法令の違反是正を図るため、各防火対象物へ立入検査を実施。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1)安全確実な業務遂行
 - ・公務災害、交通事故の無事故達成のため、更なる安全管理の徹底と職員の危険予知能力の向上。
 - ・惨事ストレス対策の推進と健康診断での再検査対象者の受診率向上。
- (2)人材の育成
 - ・職員個々の知識と技術向上のため、消防学校などの研修計画の完全実施。
 - ・専門的知識、技術を有する人材を養成するため、大型自動車免許や潜水士免許などの資格取得の推進。
- (3)災害に強いまちづくり
 - ・消防団の消防力向上のため、各種教育訓練(新人研修、機関員研修)を実施。
 - ・高機能消防指令センターの更新に伴う仕様書の作成及び消防施設等令和5年度事業の完全実施。
 - ・住宅用火災警報器の未設置世帯へ訪問活動の継続。また法令違反の是正を図るため、各防火対象物へ立入検査の継続。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1)安全確実な業務遂行
 - ・公務災害は無事故を達成したが、公用車での物損事故(1件)が発生した。次年度は更なる安全教育等を行い、公務災害、交通事故とも無事故を目指す。
 - ・火災や救助など大きな災害全てに指揮隊が出動し、隊員の安全管理を図った。指揮隊は日勤者での運用のため、今後は土日、夜間帯の災害に対し、早期に出動する体制を構築する必要がある。
 - ・惨事ストレスの症状を訴える職員なし。健康診断での再検査対象者の受診率100%達成した。今後も惨事ストレス対策及び健康診断を実施し、職員の健康障害の予防を図る。
- (2)人材の育成
 - ・今年度不祥事は発生していない。今後も公務員としての倫理観やコンプライアンスについての自覚を促し、誇りと使命感をもって職務にあたる人材を育成する。
 - ・消防大学校1名、救急救命東京研修所1名、惨事ストレス研修1名、県消防学校に延べ26名など計画していた研修をすべて履修した。また大型自動車免許1名、小型移動式クレーン免許2名、玉掛け免許2名、小型船舶免許1名、潜水士免許2名の資格取得の助成を実施し、専門的知識、技術を有する人材を育成した。今後も研修や資格取得の機会を提供し、職員の知識と技術の向上を図る。
- (3)災害に強いまちづくり
 - ・消防団に対し、消防操法、水防工法、救命ボート講習や教養研修、機関員研修など各種訓練や研修を実施した。訓練種目や訓練時間はコロナ禍前まで回復し、消防団の消防力向上と連携強化が図られた。
 - ・高機能消防指令センター更新に向け、設計者との協議を重ね、令和6年度当初予算に更新事業費を計上した。
 - ・住宅用火災警報器設置推進のため、未設置世帯1260世帯を訪問し広報活動を実施した。また消防法令の違反是正を図るため、各防火対象物へ立入検査を実施した。今後も住宅火災による死者の低減と防火対象物の消防法令違反を是正する取組を実施する。